

# 平成29年度環境とやま県民会議 事業報告

## 1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

また、平成28年5月に開催されたG7富山環境大臣会合で採択された富山物質循環フレームワークをもとに、食品ロス・食品廃棄物の削減をはじめとした資源の効率的な利用や3Rを進める必要がある。

こうしたことから、当県民会議では、引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけた。

また、当県民会議では、①「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、②「とやま節電・省エネキャンペーン」、③「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開した。

## 2 事業内容

### (1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

#### <循環型社会づくり>

##### ①とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成29年11月～平成30年3月
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動や富山の環境に関する情報をスマートフォン用アプリ等により県民に発信し、県民の環境配慮行動を促進するとともに、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を図った。  
このほか、富山県ごみゼロ推進県民大会において、エコ・ストア優良取組事業所の表彰を実施した。
- ・実 績 登録状況(74社、1,095店舗・6商店街、平成30年3月現在)

##### ②富山物質循環フレームワーク・プロモーション事業

富山物質循環フレームワークについて、県民に理解を深めてもらうイベント等を開催するとともに、食品ロス・食品廃棄物の削減をはじめとした資源効率性・3Rについての普及啓発を図った。

##### (ア)富山物質循環フレームワーク啓発イベント

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成29年6月18日(日)(エコライフ・アクト大会)
- ・内 容 食品ロス削減に関するトークショー、取組み紹介、パネル展示 等

(イ) 富山物質循環フレームワーク体験ブース

- ・主 催 とやま環境フェア開催委員会
- ・実施時期 平成29年10月21日（土）、22日（日）（とやま環境フェア2017）
- ・内 容 サルベージ・パーティ及び試食会、サルベージ・レシピの調理体験 等

③食品ロス・食品廃棄物削減の普及啓発

(ア) 食品ロス削減のアイデア募集、情報発信

- ・主 催 富山県
- ・募集時期 平成29年 8月～9月
- ・内 容 家庭での食品ロス削減の取組みを促進するため、気軽に取り組める食品ロス削減のアイデアを幅広く募集した。また、最優秀アイデアなどは、SNSにより幅広く発信した。  
最優秀アイデア賞 2個人（富山県ごみゼロ推進県民大会において表彰）
- ・応募総数 829名

(イ) サルベージ・パーティのモデル開催

- ・主 催 富山県
- ・開催時期 平成29年 6月～12月 計5回
- ・内 容 楽しみながら食品ロス削減に取り組む機会を提供するため、家庭で食品ロスになりそうな食材を持ち寄り、おいしい料理に変身させる「サルベージ・パーティ」をモデル的に開催した。
- ・参加者数 計118名

④とやま環境フェア2017の開催

- ・主 催 とやま環境フェア開催委員会
- ・実施時期 平成29年10月21日（土）、22日（日）（3R推進月間）
- ・会 場 テクノホール（富山産業展示館）
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行った。
- ・参加者 約9,300名

⑤ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県
- ・実施時期 平成29年10月21日（土）（とやま環境フェア2017と併催）（3R推進月間）
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ型社会の取組みを推進するため、功労者表彰や活動報告等を行った。  
環境とやま県民会議会長表彰  
ごみゼロ・リサイクル推進功労者 2団体  
地球温暖化対策推進功労者 1個人 3団体  
とやまエコ・ストア制度に関する活動 1事業所

- ・参加者 約150名

## <低炭素社会づくり>

### ①エコドライブ推進運動の実施

#### (ア)エコドライブの推進

- ・主催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成29年4月～平成30年3月
- ・内容 窒素酸化物や二酸化炭素の排出量の削減のほか、燃料消費量の削減等の効果のあるエコドライブを実践するため、ウェブサイト等でエコドライブの方法及び効果について理解を深めた。  
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡充を推進した。

#### (イ)エコドライブ実践促進事業

- ・主催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成29年10月21日、22日
- ・内容 気軽にエコドライブを体験できる機会を提供するため、とやま環境フェア会場において、仮想的にエコドライブを体験できるシミュレーターを用いた体験会を開催するなど、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。
- ・実績 約200名参加

### ②ノーマイカー運動への参加

- ・主催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・実施時期 平成29年9月20日（水）【バスの日】～10月14日（土）【鉄道の日】
- ・内容 公共交通の利用拡大と環境負荷低減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとした。

### ③エコアクション21推進事業の実施

- ・主催 富山県、(公財)とやま環境財団（エコアクション21地域事務局）
- ・実施時期 平成29年4月～平成30年3月
- ・内容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進した。
- ・実績 認証・登録：123事業者（平成30年3月末時点）、自治体イニシアティブ・プログラム参加事業者：10事業者

## 2)とやま節電・省エネキャンペーン2017

### ①クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主催 環境省、環境とやま県民会議

- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践した。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践した。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」を実践した。

## ②ライトダウンキャンペーンの実施

- ・主 催 環境省、富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成29年6月21日(水)～7月7日(金)
- ・内 容 夏至と七夕の夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」をスローガンに、家庭の不要な電気の消灯や、安全面、防犯面等で支障のない範囲での消灯の協力を呼びかけた。
- ・実 績 協力施設：550施設

## (3)環境教育・環境保全活動の推進

### ①環境とやま県民会議総会、エコライフ・アクト大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成29年6月18日(日)（環境月間）
- ・会 場 総曲輪グランドプラザ（富山市）
- ・内 容 環境とやま県民会議総会を開催し、活動方針を報告した。また、同日、エコライフスタイルを推進するため、エコライフ・アクト大会を開催した。
- ・参加者 約200名

### ②環境教育等行動計画推進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 富山県環境教育等行動計画に掲げる「富山県の地域特性を活かした教材（富山ならではの教育ツール）」として、中学生が本県の環境を題材として環境問題について学習するテキスト「とやまの環境学習」を作成し、県内の全中学校に配布した。

### ③エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成29年4月～平成30年2月
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに基づき、「エコライフ・イベント」を実施した。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図った。

・参加者等 約51,700名

市	期間	テーマ	参加人数
富山市	7月～翌年1月	エコライフ・イベントの推進	22,040名
高岡市	10月～翌年2月	環境に対する意識の育成	4,040名
黒部市	9月3日(日)	エコライフスタイルの促進	4,200名
魚津市	9月30日(土)	できることからはじめよう 森と水・山がはぐくむ魚津の海	800名
氷見市	7月2日(日)	ごみゼロ及びリサイクル活動の普及啓発	1,000名
滑川市	10月21日(土)	環境問題	300名
砺波市	10月29日(日)	エコライフの推進	5,000名
小矢部市	11月11、12日	地球温暖化防止	10,000名
南砺市	4月～11月	エコビレッジ構想の普及啓発	820名
射水市	9月24日(日)	エコで育もう！豊かな自然豊かな心	3,500名

#### ④環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、幼児とその保護者を対象としたエコライフ教室を実施したほか、小学生とその保護者を対象とした環境学習体験ツアーの企画運営を行った。  
また、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。
- ・実 績 エコライフ教室：10園程度、とやまエコキッズ探検隊：4企業

#### ⑤とやま環境チャレンジ10事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 小学4年生(10歳)の児童が、家庭での10の取組みを4週間実践することにより、児童と家族の環境保全意識の高揚及びエコライフの定着を図った。
- ・実 績 県内全市町村で合計66校、児童2,843名

#### ⑥スターウォッチング推進事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・開催時期 平成29年8月4日(金)
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、星空観察会を開催した。
- ・実 績 星空観察会：約300名参加

⑦環境教材等の配布

- ・主 催 (公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団への寄付金を活用し、幼児向け環境教育教材を保育園・幼稚園に配布し、環境教育の推進や地球温暖化問題に対する理解や実践を促した。